



第4回 KPUシンポジウム

日時：2013年5月1日（水）13：30 - 17：20

場所：京都薬科大学・躬行館 T31講義室

Philosophia et Praktikos

特別講演（1） 13：40 - 14：30

医療現場におけるファーマシスト・サイエンティストの役割
～僕が薬剤師として研究をしている理由～

東京大学医学部附属病院・薬剤部・助教 大野 能之

特別講演（2） 14：40 - 15：30

癌治療薬の創製を目指す企業研究

～経口 RAF/VEGFR2 キナーゼ阻害薬の探索合成研究～

武田薬品工業株式会社・医薬研究本部・癌創薬ユニット・主任研究員 岡庭 正格

一般講演（1） 15：40 - 16：10

アンジオテンシンII受容体拮抗薬テルミサルタンの
PPAR γ 活性化作用を介した慢性腎臓病治療薬としての有用性の検討

京都薬科大学 臨床薬理学分野・助教 鳥羽 裕恵

一般講演（2） 16：10 - 16：40

がんの悪性化を支配する微小環境に着目した新規がん診断・治療法の開発

京都薬科大学 薬品物理学分野・助教 濱 進

一般講演（3） 16：40 - 17：10

ミクログリアの機能解析からアルツハイマー病の新規治療戦略の開発へ

京都薬科大学 病態生理学分野・助教 高田 和幸

学部学生・大学院生の皆さんの積極的な参加をお待ちしています！

参加登録方法：当日、会場までお越しください（入場料無料）。講演終了後、茶話会を予定しております。

実行委員：長澤一樹（委員長）、安井裕之、赤路健一、加藤伸一、奈邊 健、石原慶一、辻本雅之（窓口）、高田和幸（窓口）

連絡・問合先：607-8414 京都市山科区御陵中内町5 京都薬科大学

辻本（臨床薬理学分野）：TEL: 075-595-4628, tsujimt@mb.kyoto-phu.ac.jp

高田（病態生理学分野）：TEL: 075-595-4706, kaz@mb.kyoto-phu.ac.jp